



中庭の笹に吊るされた実習生の皆さんの短冊。

あじけん通信

2016 JULY
VOL.103

株式会社きぼう国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

7月に入り、梅雨本番？ジメジメ・ムシムシした日々が続いています。さすがに「さむいです」という言葉は聞こえなくなり、ようやく日本の寒さから解放された実習生の皆さん。しかし、この時期から、アジ研実習生寮では、ある困った問題が出てきます。それは、「ムシ」問題です。日本の家庭ではお馴染みの？「ゴキちゃん」です。実習生の中には、台所や部屋でゴキブリに遭遇することに慣れていない人もいます。また、日本のゴキブリの大きさに驚く実習生もいます。先日は、床や畳に布団を敷いて寝る習慣がない国からの実習生に、「先生、寝る時に、耳にムシが入りますか？」と質問を受けました。今月 25 日には本校で定期的に行っている室内の害虫駆除が実施されますが、日本で生活する以上、ゴキちゃんとの共生は、覚悟しなければならないのかもしれないかもしれません。

あじけんスコープ Vol.44 ~ラマダンが明けました~

今月 5 日 (水) イスラム教のラマダン (断食月) が終わりました。今年は 6 月 6 日からの 1 ヶ月間、日の出前の深夜 2 時ごろに朝食？をとり、日中は水も口にせず、日没後の夜 7 時過ぎにようやく食事を口にするストイックな生活を続けながら日本語学習を続けていた皆さん。これまでの経験から、断食には慣れているのですが、慣れない環境での断食とあって、夕方になるにつれ、元気が出なくなってしまう声小さくなってしまいう実習生がいたり、なかなか授業に集中できない様子の実習生が見受けられたりしたので、ラマダンが無事に終わって、私たち日本語講師スタッフもホッとしました。右の写真は、7 月 6 日の朝、登校前に、寮の中庭で輪になって、ラマダン明けを祝う実習生の皆さんです。笑顔で握手やハグし合い、お互いに断食をやり遂げたことを喜び合っているそうです。初めて見る光景に、思わず写真を撮らせてもらえるか聞いてみると、皆さん快く OK してくれました。



今月の実習生

今月の実習生は中国人実習生の関芹 (カン キン) さんです。関さんが着ているものは、漢民族の民族衣装で、中国からお気に入りの衣装を 2 着持ってきたそうで、この日は民族衣装で授業を受けてくれました。長身で目がパッチリ、とても美人の関さんは、漢民族の衣装がとてもお似合いです。

私は中国からの実習生関芹と申します。私はずっと中国の伝統文化が好きです。歴史とか刺繍とか、その中でも服装が一番好きです。特に「漢民族服」が好きです。中国の学校でも時々漢民族服を着て遊んだり、写真を撮ったりしました。中国では、自分の民族の服のことを知らない人が多いですから、私の将来の夢は、自分で漢民族の服のお店を開いて、皆に民族服の美しさを広めることです。



あじけん流日本語授業

～七夕（たなばた）の短冊を利用した色の名称の学習～

今月のあじけん流日本語授業は、7月の第一週に、各クラスで行なわれた「七夕（たなばた）」を題材にした授業の様子をお届けします。

今回紹介するクラスでは、日本の伝統文化である七夕祭りを紹介し、願い事を書くだけでなく、様々な色の短冊を用いることで、色の名前の定着を図る活動が取り入れられています。笹の飾りや、色とりどりの短冊を用いて、明るく楽しい雰囲気の中、授業が行なわれました。授業の終了後は、研修センターの中庭に設置された竹に、実習生の皆さんが、思い思いの願い事を託した短冊を結び着けました。



ホワイトボードに貼られた短冊に色の名前を書く実習生



先生の指導を受けて短冊に願い事を書く実習生



※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます